

1月 食育だより

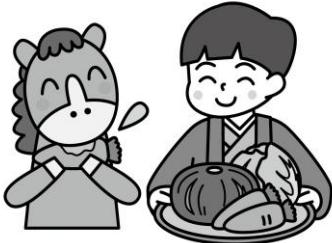
和木町立学校給食センター
栄養教諭 大本 采佳

あけましておめでとうございます 午

冬休みが終わり、いよいよ3学期が始まりました。昔から「一月往ぬる二月逃げる三月去る」といわれてきたように、年度末に向けて月日が流れるのを早く感じる時期です。風邪やインフルエンザも流行していますので、体調管理にはより一層気をつけて、1日1日を大切に過ごしてほしいと思います。



今年はうま年！



うまいように野菜を
たっぷり食べよう！



箸をうまく使いこなして
きれいに食べよう！



よく味わってうまい味
を感じよう！

1月19日(月)～23日(金)は
地場産給食週間です！！

地場産給食週間では、山口県内の食材を積極的に給食に使用します。私たちの住む地域には、さまざまなおいしい食材があります。地元の食材をおいしくいただくことで、地域のことをもっと知りましょう。



1/24～1/30は
「全国学校給食週間」です

日本の学校給食のあゆみ

学校給食の始まり



日本の学校給食は、明治22(1889)年、山形県の私立忠愛小学校で、貧しい子どもたちへ食事を提供したのが始まりとされています。この学校は大督寺というお寺の中にあり、お坊さんたちが日々を回ってお経を唱え、いただいたお金や食べ物を使って食事を用意していました。

そこから、全国各地に広がっていきました。しかし、戦争により、中断されました。



おにぎり
焼き魚
漬物
(明治22年ごろ)

支援物資による再開



戦後、子どもたちの栄養状態の悪化を心配する声が高まり、昭和21(1946)年12月24日にLARA(アジア救援公認団体)から給食用物資の寄贈を受けて、翌1月に学校給食が再開されました。当初は12月24日を「学校給食感謝の日」としていましたが、その後、冬休みと重ならない1月24日からの1週間を「全国学校給食週間」とすることになりました。

ミルク
トマトシチュー
(昭和22年ごろ)

